

別添1 2024年度際協力人材赴任前オリエンテーション(専門家等) 基礎科目講義一覧

★受講対象の見方
 PE...技術協力プロジェクト専門家(技術移型)
 CA...技プロ専門家(チーフアドバイザー)
 PC...技プロ専門家(業務調整)
 個別...個別専門家

基礎研修①・②ともオンデマンド研修です。各自でPC及びインターネット環境をご用意ください。

	研修内容	研修内容・ねらい	PE	CA	PC	個別	備考
基礎 研修 ①	1	JICAの協力概要	○	○	○	○	
	2	ODA概要	○	○	○	○	
	3	技術協力概論	○	○	○	○	
	4	在外経理・臨時会計役の業務(総論)	○	○	○	○	
	5	在外経理・臨時会計役の業務(演習)	○	○	○	○	
	6	長期専門家のコンプライアンス	○	○	○	○	
	7	調達・契約	○	○	○	○	
	8	キャパシティ・ディベロップメント	○	○	○	○	
	9	海外安全対策	○	○	○	○	
	10	健康管理	○	○	○	○	
	11	福利厚生制度・共済会	○	○	○	○	
	12	専門家の待遇・諸制度	○	○	○	○	
	13	公用旅券の適正管理	○	○	○	○	
	14	携行機材のしおりについて	○	○	○	○	
	15	国際援助潮流と他機関とのパートナーシップ	○	○	○	○	
	16	派遣者ポータルの操作解説	○	○	○	○	
基礎 研修 ②	17	事業マネジメント 研修委託先の外部講師により実施します。 ■研修内容: 事例教材を用いて、技術協力プロジェクトの計画立案から、モニタリング、評価まで一貫して疑似体験する。 ■ねらい: ① PCM手法(計画立案、モニタリング・評価)の概念・内容、PCM手法の長所短所、補完するツールについて理解する。 ② PCM手法を踏まえ、プロジェクトの進捗と達成度、リスクを適切に監視でき、必要に応じてPDMの変更を提案できるようになる。 ③ 評価6項目の考え方を理解し、モニタリング結果を踏まえて、事業完了報告書を作成できるようになる。 ④ オンラインでPCM手法の学習を通じリモートでの参加型活動の手法の参考になる。	○	○	○	○	
			○	○	○	○	

研修内容・講義名称等、変更の可能性があります。

【資料を配布】

	研修内容	研修内容・ねらい	PE	CA	PC	個別	備考
自己 学習	広報	JICA広報の目的・狙い・基本方針およびJICA広報活動を学び、専門家自身の広報活動の役割について認識を深め、実践を促す。	○	○	○	○	
	ジェンダー平等推進	ジェンダー平等推進におけるJICA事業での理念の活かし方を理解する。	○	○	○	○	
	持続可能な開発目標(SDGs)への取り組み	SDGsの概要について理解しJICAを含む国際社会の取り組みについて習得する。	○	○	○	○	
	平和構築	平和構築の考え方とJICAにおける実践例を理解する。	○	○	○	○	
	専門家のワークプロセスマネジメント	専門家が技術協力の成果を上げる過程で必要となる「ワークプロセス・マネジメント」の考え方を理解する。	○	○	○	○	
	有償・無償資金協力	有償資金協力と無償資金協力の概観を理解する。	○	○	○	○	
配偶者の経験談	随伴家族として赴任経験のある方々の座談会の様子を取りまとめた資料。赴任に際しての留意事項や現地での生活の様子を理解する。	希望者					